

市議会3月定例会行政報告

地域防災計画を具体的に再検討

市議会三月定例会が招集された三月一日、小畑市長が行政報告をしました。その中から主なものの要旨をお伝えします。今定例会で審議された案件等については、四月一日号でお知らせします。

防災計画について

阪神大震災(兵庫県南部地震)により、犠牲となられた多くの人々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災した皆様に対し心からお見舞い申し上げます。

今回の大震災を目の当たりにし、市民の安全確保を使命とする地方行政を担う者として、大変強い衝撃を受けました。私たちの地震に対する基本的な考え方と防災への取り組み方を、根本から変えなければならぬと感じています。

市では、震災発生後すぐに、広域消防本部の協力を得て避難場所の調査・点検をし、地震に対する心構えや避難場所などを書いたチラシを各家庭に配布しました。また、地域防災計画の再検討に向け、二月七日に「災害応急対策

す。したがって大館市の地域防災計画の見直し完了までにはまだ時



従来の常識を覆す規模となった阪神大震災写真提供・朝日新聞社

間がかかりますが、万全の対策を立てるため、危機意識を持って真剣に取り組む考えです。

行政改革推進本部の設置について

市ではこれまででも行政改革の推進に積極的に取り組んできましたが、現在の地方行政を取り巻く状況は極めて厳しいものがあります。改めてその責務を自覚し、社

会の変化に対応した簡素で効率的な行政の確立に向け、自主的な改革を図っていくため、一月三十日に「大館市行政改革推進本部」を設置しました。本部長を市長、助役・教育長・各部長を本部長にするとともに、この本部事務を円滑に進めるため、関係課長を幹事とした幹事会も併せて設置したとこ

ろです。本部では、事務事業の見直し、組織機構の見直し、定員管理の適正化などを主要課題として検討を進め、今年九月までに計画期間五年の「行政改革大綱」を策定することにしていきます。また四月中には、大綱の策定とその実施にあたり市民の皆さんの意見を反映させるため、各層からの代表十人ほどで組織する「大館市行政改革推進委員会」を設置する予定ですので、ご協力をお願いします。

桂城短大について

秋田桂城短期大学については、昨年十二月十四日、学校法人秋田

経済法科大学へ第一次設置認可申請の合格内示があり、一月九日に文部省で交付式がありました。これで八年四月の開学に向けて校舎等の建設に着手できることになり、経法大では一月三十日と二月十六日に六工区の入札を行いました。その結果、全工区を大館市の企業が落札しています。請負総額三十五億八千八百万円という大工事が、全面的に地元企業の手で行われることは誠に喜ばしい限りです。

現在、建設地(清水二丁目)では現場事務所の建設や資材の搬入が行われていますが、今年八月には、円形図書館などのユニークな施設の外観が現れることになりました。建設地周辺の市民への建設工事説明会は、二月五日と十八日に



事務所の建設資材が運び込まれました

経法大の主催で開かれましたが、市としては工事の安全面に配慮いただくとともに、市民の生活に支障をきたさないよう経法大と連携